



株式会社バイ・テクノロジー  
2025年3月期(第28期)

# 第1四半期決算補足資料

(2024年4月1日～6月30日)

2024年8月9日

# 1. 連結業績サマリー

- 売上は大幅増収ながら、損失が拡大
  - ✓ 顧客都合による、売上時期の期中内での延伸が主因

(百万円)	FY24/3 Q1	FY25/3 Q1	前年同期比
売上高	5,749	9,523	+ 3,774 + 65.6%
営業利益(▲損失) (利益率%)	▲641 —	▲948 —	▲307 —
経常利益(▲損失) (利益率%)	▲410 —	▲759 —	▲349 —
親会社株主に帰属する 四半期純利益(▲損失) (利益率%)	▲406 —	▲656 —	▲250 —

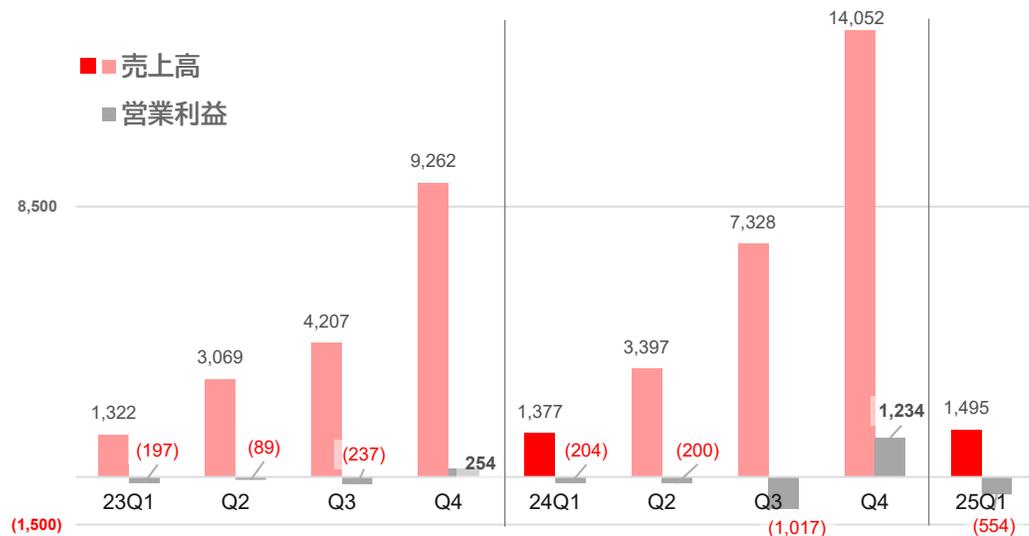
## 2. 各セグメントの連結売上高・営業利益の状況

(単位:百万円)

- 半導体・フォトマスク装置事業は、顧客都合により一部の収益性の高い案件が途中で延伸した為、損失拡大
- FPD装置事業は、売上は大幅増加、利益は前期に利益率の高い大型案件を計上した影響等から、横ばい

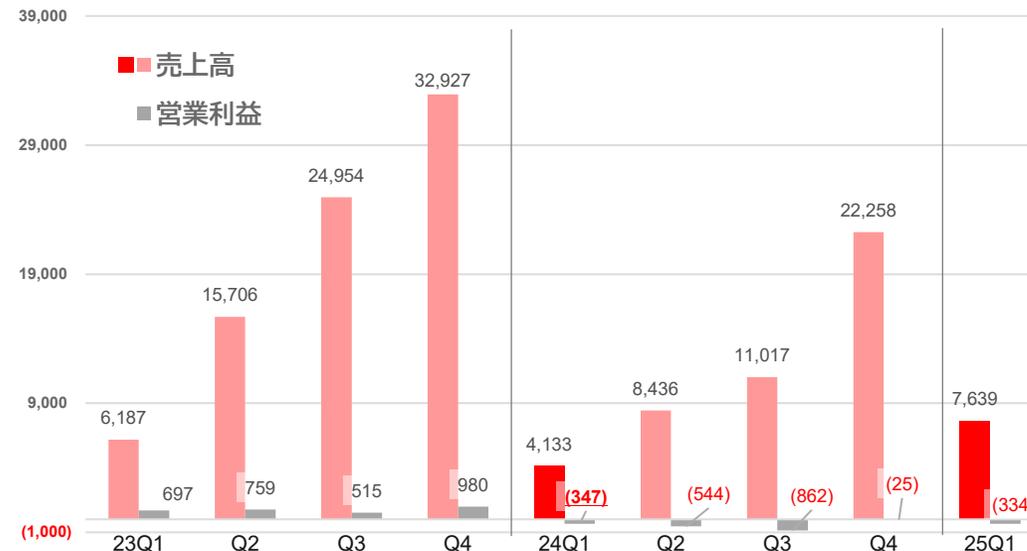
### 半導体・フォトマスク装置事業

	FY24/3 Q1	FY25/3 Q1	前年同期比
売上高	1,377	1,495	+8.6%
営業利益(▲損失) (セグメント利益率)	▲204 (-%)	▲554 (-%)	▲350 (-%)



### FPD装置事業

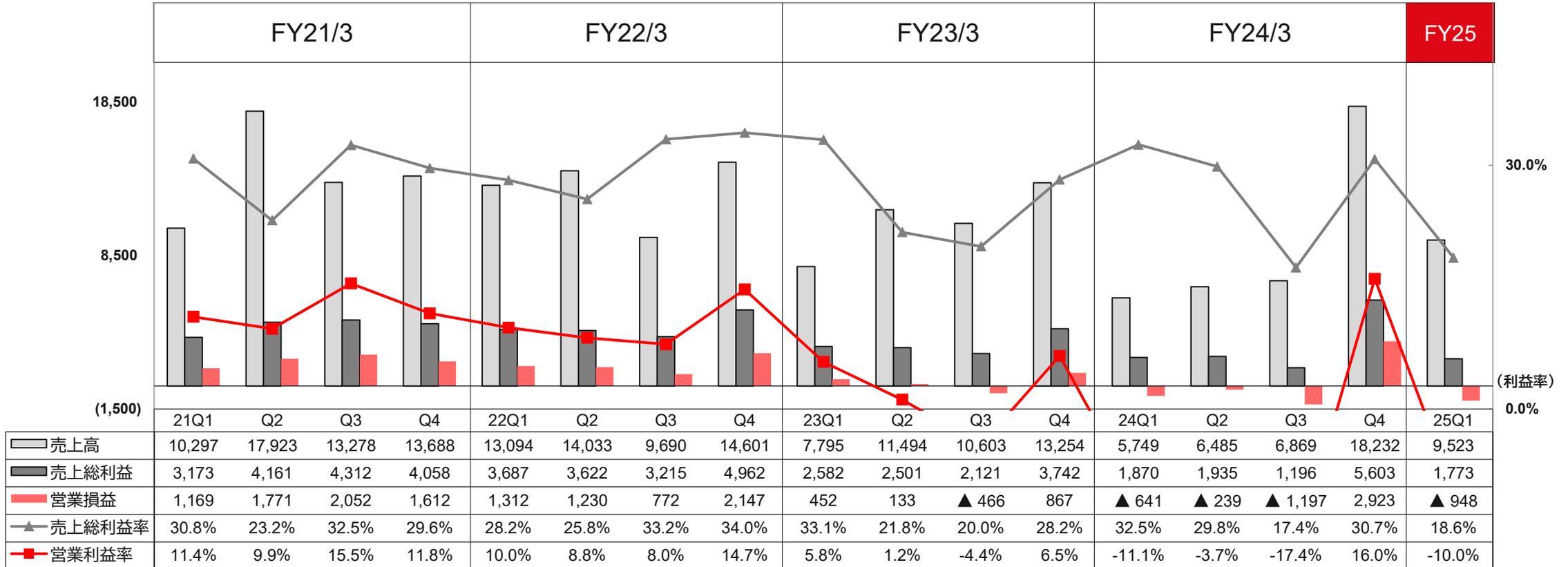
	FY24/3 Q1	FY25/3 Q1	前年同期比
売上高	4,133	7,639	+84.8%
営業利益(▲損失) (セグメント利益率)	▲347 (-%)	▲334 (-%)	+13 (-%)



半導体・フォトマスク装置事業:半導体製造工程における製造装置、検査装置及びフォトマスク用装置等の開発・設計・製造・販売・関連サービス、及びPCB用装置で構成  
 FPD装置事業:FPD製造工程における製造装置、検査装置等の開発、設計、製造、販売、関連サービス及びOLED用蒸着マスクをはじめとする部材等で構成

### 3. 四半期売上・利益の推移 (単位:百万円)

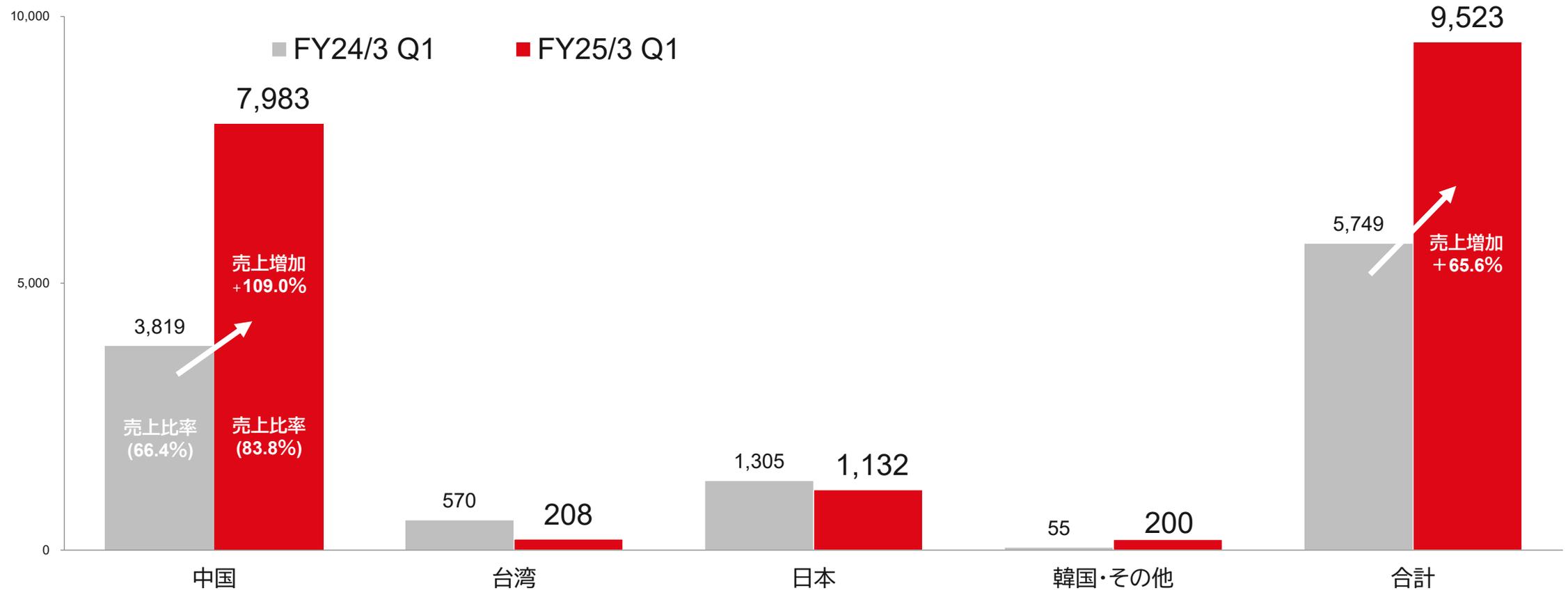
- 粗利率は、期中の延伸やミックス悪化の影響から低下
- 売上増に伴い、販管費(変動費)が上昇



# 4. 地域別売上高

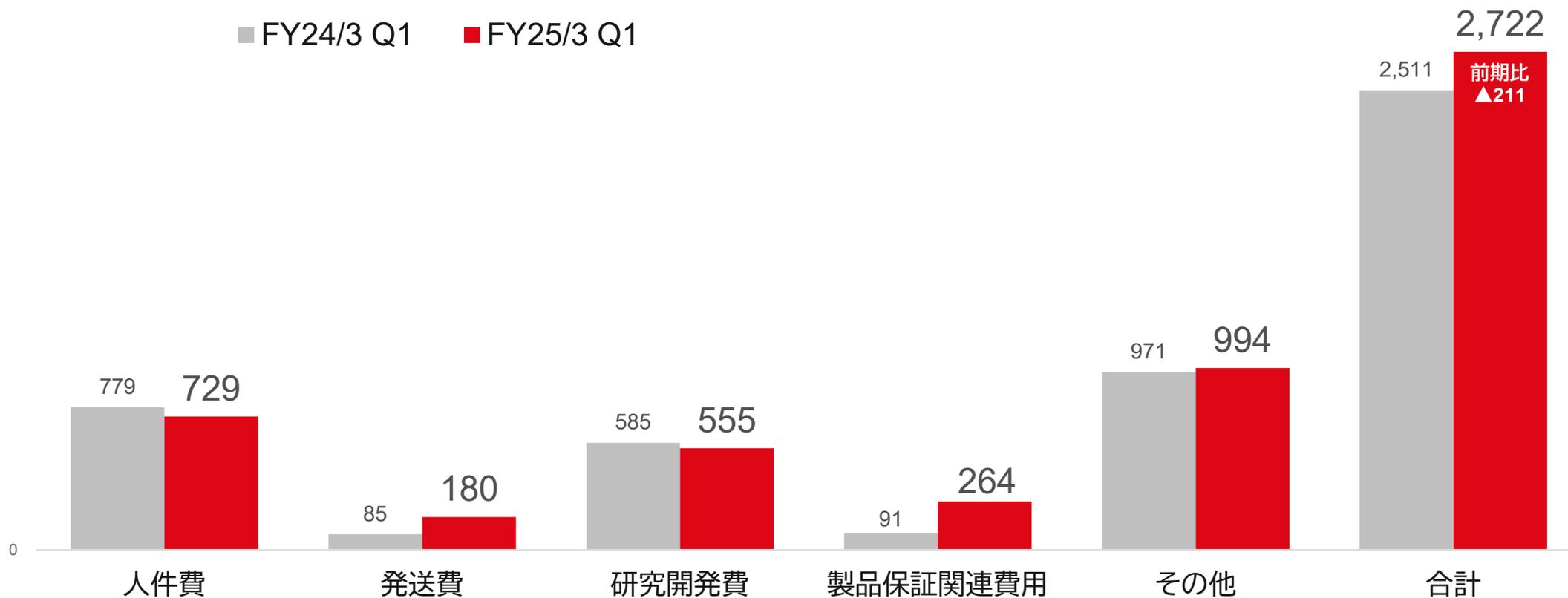
(単位:百万円)

主にFPD装置事業において、中国向けの売上が増加  
✓ 中国比率は17.4ポイントまで上昇



## 5. 販売費及び一般管理費 (単位:百万円)

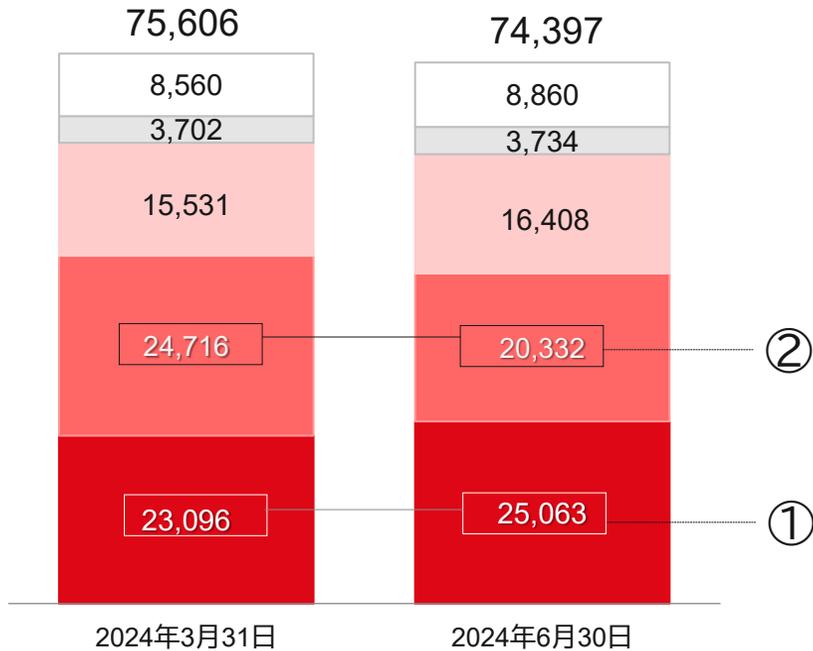
- ・ 売上の増加に伴い、発送費および製品保証関連費用が上昇



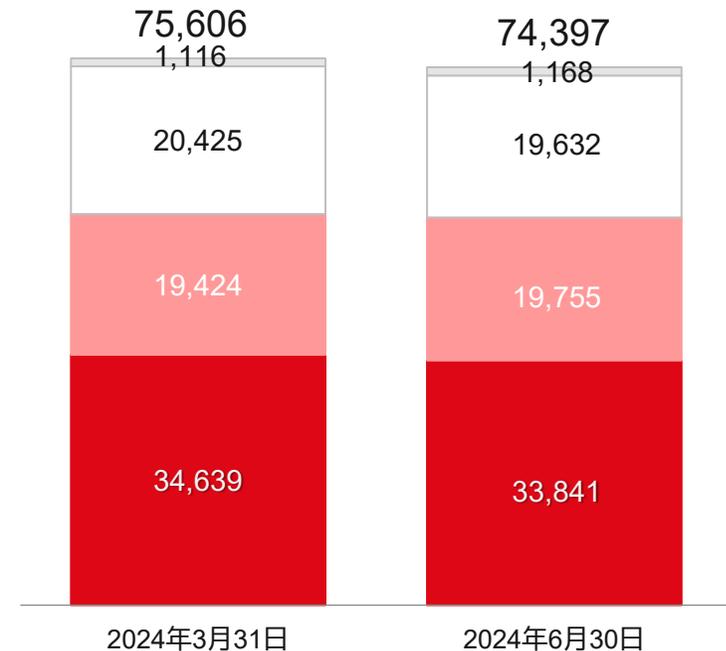
# 6. 貸借対照表 (単位:百万円)

- ① 現金及び預金……受取手形及び売掛金の減少等により、1,967百万円増加
- ② 受取手形及び売掛金……検収作業の促進等により売掛金回収が進展し、4,384百万円減少

## 総資産



## 負債・純資産



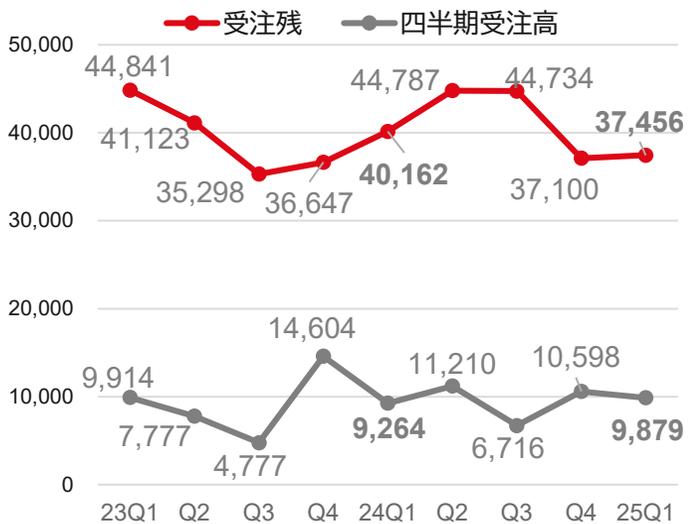
■ 現金及び預金 ■ 受取手形及び売掛金 ■ 棚卸資産  
 ■ その他流動資産 ■ 固定資産

■ 純資産 ■ その他流動負債 ■ 借入金(短期・長期) ■ その他固定負債

# 7. 受注・受注残の状況 (単位:百万円)

- 半導体・フォトマスク装置事業……主にウェハ検査・DI露光装置を受注、フォトマスク関連はQ2に延伸
- FPD装置事業……………中国向けの受注が伸長

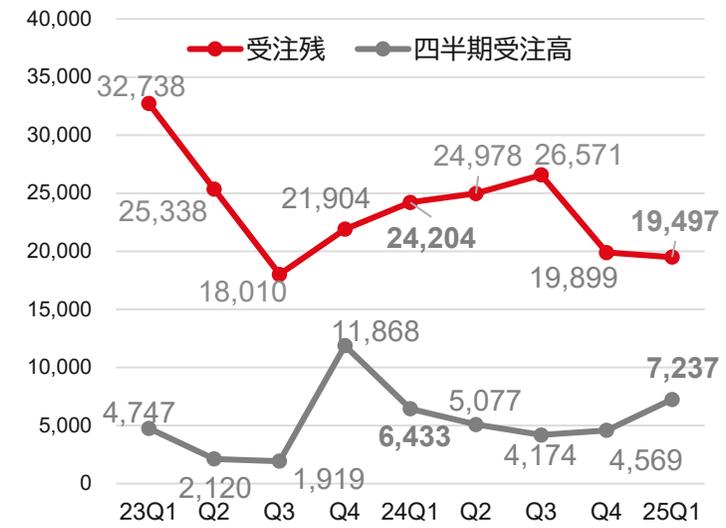
グループ全体			
	FY24/3 Q1	FY25/3 Q1	前年同期比
受注残	40,162	37,456	▲6.7%
受注高(累計)	9,264	9,879	+6.6%



半導体・フォトマスク装置事業			
	FY24/3 Q1	FY25/3 Q1	前年同期比
受注残	15,958	17,959	+12.5%
受注高(累計)	2,592	2,254	▲13.0%



FPD装置事業			
	FY24/3 Q1	FY25/3 Q1	前年同期比
受注残	24,204	19,497	▲19.5%
受注高(累計)	6,433	7,237	+12.5%



## 8. 通期業績及び配当予想

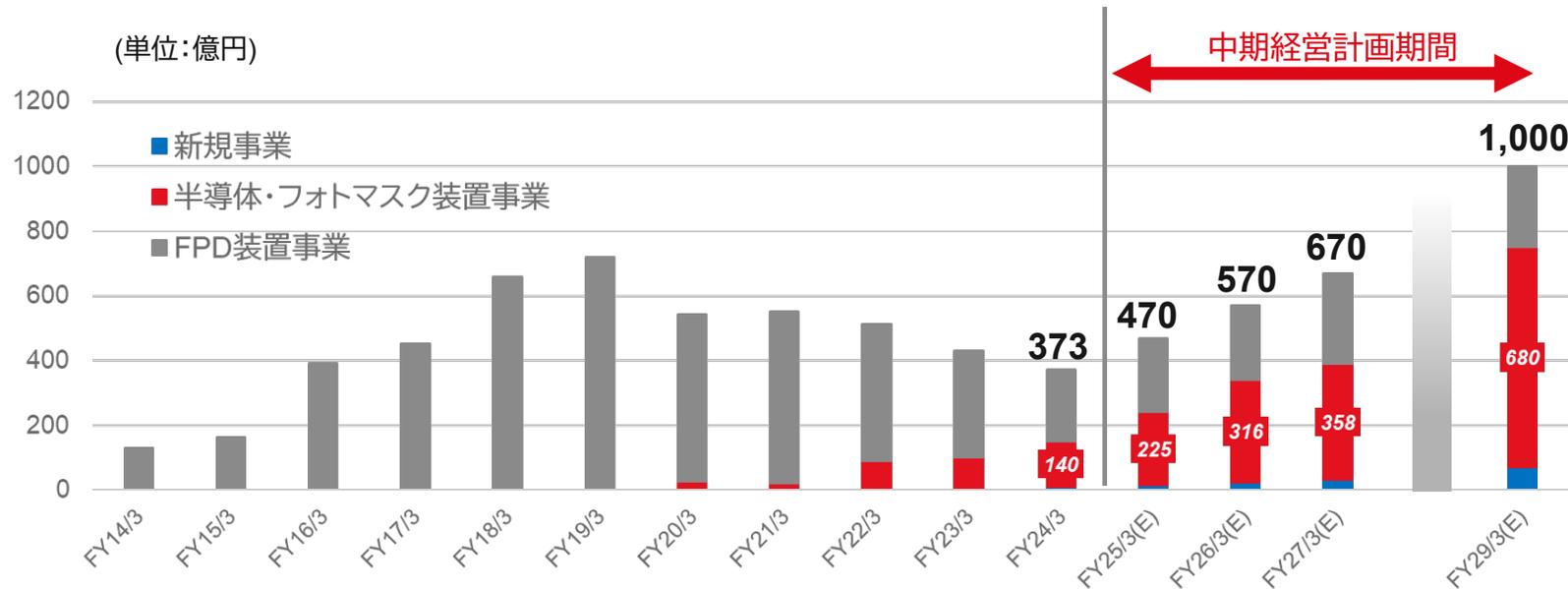
2024年5月13日開示の業績および配当予想からの変更は御座いません。

(百万円)		FY24/3実績	FY25/3 業績・配当の予想	
		金額	金額	前期比
売上高		37,335	47,000	+25.9%
営業利益		846	1,600	+89.1%
(利益率)		2.3%	2.5%	
経常利益		1,112	1,400	+25.9%
(利益率)		3.0%	2.1%	
親会社株主に帰属する当期純利益		778	1,000	+28.5%
(利益率)		2.1%	1.4%	
EPS(円)		80.65	103.90	+23.25
配当(円)	中間	30	40	+10
	期末	30	40	+10

# 9. 自己株式の取得について

中長期の事業成長が見込まれる中、現状の株価水準及び株主還元方針を踏まえ、自己株式の取得を8月9日開催の取締役会にて決議いたしました。

- 1. 取得する株式の種類 : 当社普通株式
- 2. 取得する株式の総数 : 198,000株(上限)、発行済み株式総数(自己株式除く)に対する割合2.06%
- 3. 株式取得価額の総額 : 5億円(上限)
- 4. 取得する期間 : 2024年8月12日(月)～2024年9月30日(月)
- 5. 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付
- 6. ご参考 : 2024年6月末時点の発行済み株式総数: 9,626,214株(自己株式431,386株を除く)



<基本方針>

- 半導体分野での事業成長を軸とした計画、2029年3月期の売上1,000億円の達成を目指します。
- 成長著しい半導体分野での事業拡大に注力すると共に、FPDはシェア確保・収益性向上に取り組めます。

ご参考: 売上高の推移と今後の見通し

製品競争力を強化し、中長期の事業成長を実現するべく、マーケティング・技術開発・M&A等の施策を重ねました。

## JPCA2024に4つの製品を出展



チップレット対応  
業界初RDL用DI 'LAMBDA'



超ファインピッチμプローブ  
47μmピッチ/φ25μmバンプ対応



高速/多様なソルダレジストに対  
応するDI露光



DX推進ソリューション  
製造工程見える化



ハイパフォーマンスコンピューティングを支える高性能半導体用のアドバンスドパッケージやチップレット製造技術、世界的な「電動化」を支える汎用PCB技術に注目が集まりました。

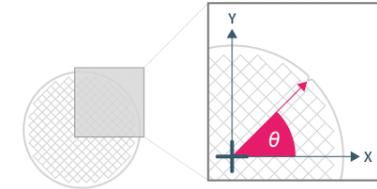
## 青色材料の開発に成功



子会社FLASKは、有機EL材料の中でも特に難しい青色有機EL材料の開発において、自社保有の特許を活用し、459nmで発光するオリジナルの青色有機EL材料の開発に成功しました。

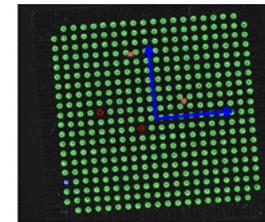
## 半導体向け画像処理技術の獲得

エイチエスティー・ビジョン社  
技術応用事例



ノッチ検出

ウェーハアライメント



BGA検査



ディスクリート検査

エイチエスティー・ビジョン社をグループ傘下に。NSS社の光応用ハードウェア技術との融合、当社グループの各社が持つ様々な画像処理応用技術との連携による差別化等を目指します。

## ・ 将来見通し

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢・市況の変化、競争環境の変化、顧客のある国の政策変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる結果となる可能性があります。従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

## ・ 数字の処理

記載された金額は、単位未満を切り捨て処理、比率は単位金額で処理した結果を四捨五入している為、内訳と一致しない場合があります。

### お問い合わせ先

社長室 IRグループ  
[vtj-mng-pre@vtec.co.jp](mailto:vtj-mng-pre@vtec.co.jp)

